

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	10
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	4
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	1
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	7
1. その人らしい暮らしの支援	5
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	23

事業所番号	1471500304
法人名	社会福祉法人 誠幸会
事業所名	グループホーム 泉の郷 仙石原
訪問調査日	令和3年12月6日
評価確定日	令和4年3月7日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は20項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和 3 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471500304	事業の開始年月日	平成15年11月1日	
		指定年月日	令和3年11月1日	
法人名	社会福祉法人 誠幸会			
事業所名	グループホーム泉の郷仙石原			
所在地	(250-0631) 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1285-368			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	令和3年11月26日	評価結果 市町村受理日	令和4年3月9日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

*ひたむきに「幸せ」の「和」をひろげ、誰もが笑顔で暮らせる社会をつくる。

新型コロナウイルス感染予防もあり面会や外出の制限もあり利用者様及びご家族様には多大なご迷惑をおかけしております。その中でも利用者様には如何にストレスにならないかを職員一同考え対応してきました。また徐々に面会をするご家族様にも安心して頂けるようADLの維持にも努めております。

最近では予防策をしっかりとり外出もしており、外出時の利用者様の笑顔を見るとまだまだ出来るように感じ、しっかりと新しい生活様式を確立していかなくてはと考えています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和3年12月6日	評価機関 評価決定日	令和4年3月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は社会福祉法人誠幸会の運営です。同法人は横浜市区に本部を構え、横浜市内を中心に「高齢者介護・障がい者支援・保育」の3本柱を軸に様々な福祉サービスを提供しています。高齢者介護では特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、軽費老人ホーム、グループホームなどの入所系サービスから、デイサービス・訪問介護、訪問看護、居宅介護支援などの在宅系サービスを展開しています。障がい者支援ではグループホーム、居宅介護、就労継続支援B型のサービスを提供しています。保育事業では認可保育所、企業主導型保育園を展開しています。ここ「グループホーム泉の郷仙石原」はJRまたは小田急線「小田原駅」からバスに乗り「小塚入口」で下車して徒歩5分程の場所にあり、緑豊かな箱根の山々に囲まれていることから、四季折々の自然を楽しむことができます。

●法人の介護事業部では「生きていく力や権利を尊重し、一人ひとりの個性に応じた介護」を提供を目標に掲げており、この目標に沿ったサービスを提供するため、事業所では画一的なケアではなく、利用者一人ひとりの生活歴、ADLやIADLの状態を把握したうえで、その方に合わせた個別的ケアが出来るように努めています。月1回の職員会議以外にも利用者の状態やケア内容について話し合う機会を設けるようにし、状況の変化や個別性に配慮したケアサービスが提供できるよう注力しています。また、身体的な介護のみならず、声かけにおいても、慣れから起こりうる言葉遣いの乱れや業務的な対応にならないよう、事業者独自の理念・宣言を掲げ、毎朝礼時に唱和し・意識しながらケアに臨むよう心がけています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム泉の郷仙石原
ユニット名	やまぼうし

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ひたむきに「しあわせ」の「和」をひろげ、誰もが笑顔で暮らせる社会をつくる。また6つの規範を守ることにより基本理念を尊重し、茶会貢献に努めています。	法人の理念「ひたむきに「幸せ」の「和」をひろげ、誰もが笑顔で暮らせる社会をつくる。に基づいた事業所運営を行うため、職員一同、法人の6つの行動規範をに沿った行動を常に心がけ、理念の実践につなげています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の世帯の減少も続く中に、コロナウイルスによる自粛もあり、自治会の総会等の集まりは控えておりますが、地域の定期清掃には参加させていただいております。また、日常の挨拶は欠かさない様に心がけております。	地域の世帯数減少に加え、新型コロナウイルスの蔓延に伴う活動自粛もあり、総会などの集まりの参加は控えています。以前から継続している地域の清掃活動には現在も参加し、地域の美化活を行っています。また、職員の出退勤時の挨拶や散歩時の挨拶は励行して行っています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	箱根町の高齢化が進む中、土地柄のせいまだまだ認知症という病気をご家族は理解出来ず、隠す傾向が見られるように思われます。もう少しご家族様に認知症という病気を理解していただける様に柔軟に説明、アピールして地域への支援に努めていければと考えております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルスも少し落ち着いてきているものの、まだまだ感染予防もあり、外部との交流も裂けておりますが、電話等での報告や意見等お伺いして、今後のサービスの向上に努めております。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、事業所の現状や活動内容について報告し、事業所の取組みや活動に対する理解を求めるとともに意見や提案を求め、事業所のサービス向上に努めています。土地柄的にもまだまだ認知症を隠す傾向があることから、地域への情報発信を課題の一つとして考えています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	まだコロナウイルスの自粛もあり、なかなか会議や情報交換の場には出席は出来ておりませんが、市町村関係者や協力関係者とは電話等で連絡を密に取り意見交換をさせて頂いております。	箱根町役場には運営推進会議の議事録提出や介護保険制度の改定、不明点などが生じた際に連絡を取り合うなどしながら、良好な関係性を構築できています。現在は感染症拡大防止のため一堂に会して顔を合わせての情報交換などは行えていませんが、電話やメールにて情報共有を図っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関や出入り口の施錠はしておらず、身体拘束はありませんが、知らず知らず言葉による声掛け等に身体拘束に当たるような言葉になっていることもあり、研修等に取り入れ、職員同士声を掛け合い、身体拘束にならないようなケアに取り組んでおります。	玄関やユニット出入口は施錠せず、自由に出入りできるようにしています。身体拘束廃止委員会を設置し、3ヶ月に1度は事例などを持ち寄りながら話し合いを行い、身体拘束に該当する行為や声かけなどについて共通認識図り、身体拘束のないケアを実践しています。	今後の継続
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待については繰り返し研修を行なっています。内容的には職員のストレスからくるものや心理的な虐待が主になっておりますが、言葉かけには充分注意をしなければいけないと思っておりますとともにその場で注意をし、今後も予防に努めて参りたいと思います。	高齢者虐待防止については身体拘束と併せて研修を行っている他、虐待防止アンケートなどを活用して勉強会を行い、虐待の種類や該当する行為、ケアの中で虐待に該当する対応がされていないか確認しています。職員のストレスから虐待に発展しまうケースも皆無とは言えないため、職員のメンタル面のフォローも行うように心がけています。	今後の継続
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	当施設では3分の1の入居者様が成年後見人制度を利用させて頂いており、成年後見人様との話し合いや相談等でいろいろ学ぶ機会もありました。今後もっと成年後見人制度の利用も増えると予測されますので、今後実践で制度の理解や活用が出来るのではないかと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては先を見越した説明も交えて理解、納得して頂いておりますとともに利用者様の不安も引き出せるように努力しております。また、今後契約書や重要事項説明書の改訂に伴い、自分自身書面の説明がしっかりとできるように理解を深めるよう努力しております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様や利用者様には日ごろから意見や不満等を引き出さなければ、いずれ大きな苦情となると考えています。意見要望等は面会時の記録として残し、管理者等に伝わるようにしています。	契約時に重要事項説明書に明記している苦情相談窓口について説明しています。家族からの意見や要望は家族の来訪時や電話連絡した際に、近況報告と合わせて伺うようにしています。意見や要望が聞かれた際には記録に残し、職員間で情報共有を図りながら、早期解決に努めています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	最近は特に職員の声为上層部まで届くようになり変化が見られるようになってきております。これは入居者様同様、職員を大事にする良い傾向だと思います。今年度も昨年同様運営を4つのテーマに分け課題の抽出や改善に取り組んでいます。	職員の出勤時、業務や休憩時間の合間などの時間でも職員から意見や提案を聴くなどして、働きやすい環境づくりに努めています。また、管理者はユニット会議や全体会議で職員から意見や提案を聞き、意見交換したのちに業務やケアに反映させています。近年、法人内の組織改正も行われ、職員の声为上層部に届くようになり、現場の声を取り入れた業務改善も図られるようになってきています。	今後の継続
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給料水準では新たな加算もあり見直しを今年度も続けて行っています。今年度も人員不足が続き、職場の環境や整備にも力を入れております。現在さまざまなAI利用の検討も引き続き行なっています。	法人では、多様な雇用形態・キャリアパスの充実・資格取得などを取り入れ、職員がやりがいや向上心を持って働ける環境整備に注力しています。現場においても、家庭と仕事を両立できるよう配慮したシフト作成、面談も適宜行いながら、職員が働きやすい環境整備に取り組んでいます。	今後の継続
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本部内部研修・外部研修・自事業所内部研修と研修の場は多く提供していましたが、今現在はコロナウイルス感染防止の為、外部研修は自粛しておりますが、自事業研修だけはテーマに添って行っており、スキルアップにも繋げております。	入職時には「誠幸会職員の皆さんへ」(接遇及び業務マニュアル)を配布しており、入職時のオリエンテーションで職員としての心構え・接遇・法令順守・介護技術に至るまで本部で研修を受講しています。そのご。現場でもOJTを通して利用者の情報・業務の流れなどについて指導を行っています。入職後も法人内研修・事業所内研修をはじめ、外部研修の参加を促し、職員のスキルアップにつなげています。	今後の継続
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年4回の箱根町主催介護保険連絡会には必ず参加をさせていただいておりましたが、コロナウイルス感染予防で自粛となりました。それでも電話等で連絡を取り合い、各事業者からの新たな連絡事項なども多く含まれており、各事業所の連携が深まってもおります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	傾聴に重点を置き、それをケアプランに反映させることができるように、まずは不安要素を払拭することに努めています。その上に要望等も加え、その方に適した支援を行うことを心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今までのご本人の生活歴を把握したうえで関わる時間を多く持ながら、傾聴することにも重点を置き、一人ひとりにあった声掛け、対応に努めております。また家族様との関係も、良い話だけでは信頼関係を築けるものでもないで、現実や先の話も織り込んで親身な対応に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族やご本人、ケアマネージャーも含め何を必要としているかを見極める事が大事かと思いますが、まずはご本人を知る事を心掛けて対応にあたりたいと思います。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「介護する者」「介護される者」と区別するのではなく今ここでともに暮らす事で新たな生活づくりのお手伝いをさせて頂き、ごまかしのない話の中でお互いの信頼関係を築く様に心がけております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナウイルス感染防止の為、ご家族様と入居者様のご面会も制約される中ですが、ご家族様からの新たな情報を得ることができるようせっかくの時間を大事にして話し合えるように努め、より深い関係ができるように心がけております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出や通院は出来る限り、ご家族にお願いして、外出時はご自宅に寄り、様子を見て安心して頂く様にお願いしておりますが、現実的にはなかなか難しいところもあり、コロナウイルス感染防止の自粛も解除されたらホームの行事にも参加して頂き、みんなで新たにより良い関係を築ければと思います。	契約時に、差し支えない程度に友人や知人に入居したことを伝えてくださいと声かけし、馴染みの関係が途切れないよう支援しています。また、入居時のアセスメントで、本人にとって馴染みの場所や人、趣向などの情報の把握に努め、馴染みの場所にお連れしたり、趣向を継続できるよう支援しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が仲裁しなくても入居者様同士がコミュニケーションを取ることが多く見られるようになりました。当然コミュニケーションの難しい方には職員が橋渡しをし、独りではない生活が送れるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	グループホームを何らかの事情で退居されても、当施設に住所を置かれている方もいらっしゃいます。その後のフォローが後々私どもに帰ってくることも多々あり、今後も相談や支援に努めてまいります。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	画一的なケアではなく、ご利用者様一人ひとりの生活歴を踏まえ、その方に合わせた個別的ケアが出来るように努めております。その際は当然ご本人やご家族様より情報も頂いております。	入居前面談で、本人、家族、在宅時のケアマネージャから、過去の生活歴や既往歴、趣味嗜好、暮らし方の希望などについて聞き取り、思いや意向を把握しています。入居後は事前面談で得られた情報を基に関わりながら、言動や表情から今の思いの把握に努めています。会話の中で得られた情報、職員の気づきは申し送りや個人記録などを活用入して、情報共有を図っています。些細なことでも、介護計画に反映させ、思いや意向に沿った支援ができるよう努めています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の生活歴は重要なことなので、ケアマネージャやご家族も含め把握に努めています。居室については入居者様の落ち着ける環境を整え、心地よい環境作りに気を付けております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活がその人にとって充実し、満足のできる一日になる様にやりたい事や出来ることへの拡大を図りながら、ともに楽しむ生活づくりができるようにケアプランにも繁栄しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランのチェック表やケアカンファレンス等で状況の変化に応じた個別性に配慮した目標提示がされているか話し合いをしながら再確認をしております。	入居時のアセスメントで得られた情報を基に初回の介護計画を作成し、暫くの期間は様子を見ながら、ADL・IADLの状態などの情報を収集し、現在の心身の状態を把握したうえで、再度アセスメントを行っています。介護計画の見直し時には、ケアプランチェック表、家族の要望、個別性に配慮しながら介護計画を作成しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	常に気づきの報告書をあげ、それに基づきケアカンファレンスしながら状況の変化に対応、見直しをしているとともにケアプランチェック表でも介護計画の見直しに役立てております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	大きな状況の変化や問題が生じた時は、会議を開催して家族の意向や状況等を話し合い、常に個別性に配慮できるように細やかに取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源では有償に限らず、小さな資源でも組み合わせることにより大きな資源になるかと考えています。あらゆる資源を見つけ出し、豊かな生活作りが出来るように支援しております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との信頼関係は出来ており、いろいろ相談に応じて頂いております。また訪問歯科や訪問ナース、訪問診療等もよく相談に乗って頂き、それを記録にも残しております。ご本人やご家族様の希望にも最大限に応えられるようにもしております。	入居時に事業所の協力医療機関について説明し、協力医にすることのメリットを伝えたくて切り替えていただくようにしていますが、まれに家族対応で従来のかかりつけ医での受診を継続している方もいます。仙石原永井医院を主治医として毎月往診に来ていただき、利用者の状態によっては紹介状を書いていただき、総合病院で受診しています。歯科は希望者のみ契約しており、必要に応じて治療や口腔ケアを受けています。また、週1回同法人の訪問看護ステーションから利用者の健康管理があります。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員の情報と訪問看護師の情報を記録に残し、すべての職員が適切な受診や看護を受けられるように努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関とは営業も兼ね関係づくりに努めています。医療連携室等との情報交換も常日頃より心掛け、入退院時もスムーズに行えるよう努めています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	当施設では看取りを行っていないため、入居前からご本人やご家族様には重度化や終末期に関しては、十分な説明を行っています。また入居者様の望む事を適切に家族等にも伝えられるよう日頃から努力をしています。	契約時に重度化した場合や終末期における対応、事業所では看取りを行うことができない旨を納得していただいたうえで入居していただいています。事業所は一般の個浴であり、機械浴などの設備が整っていないことから、入浴支援が困難となった場合は重度化の目安の一つとして判断しています。重度化した際には、家族との話し合いの場を設け、他施設や療養型などの転移を薦めています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急手当や初期対応に関して法人内でも研修に盛り込んでおります。主治医からのご利用者様それぞれあり得る急変や注意も頂いたり、今年度より一部ですが訪問診療も出来るようになり、緊急時の対応もいっそうスムーズになり、実践力にも繋がっているのではないかと考えられます。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策では消防署の指導もあり、外への避難ではなくテラスへの避難を推奨されています。年2回の防災訓練でも毎回さまざまな想定をこなすよう工夫しております。またご利用者様の薬は10日間程余裕を持たせ、食糧の備蓄もしております。箱根町災害緊急避難場所にも指定されております。	箱根山の火山活動の関係もあり、災害時における対応マニュアルは町役場と協議して作成しています。防災訓練は年2回行っており、防災設備会社の立ち合いの下に昼夜を想定して実施しています。備蓄品は1週間分の水や食糧の他、懐中電灯、ヘルメット、ラジオ、衛生用品を準備しています。さらに、薬についても10日分程の余裕を持って処方していただいています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	長年一緒に生活を共にすると、知らず知らずに不適切な声かけも聴かれ、反省することもあります。しかし人格の尊重などは常に心得え対応する努力をしています。	入職時研修や入職後も定期的な研修を行うとともに、申し送り会議などで、接遇・マナー・倫理について話し合う機会も設けています。利用者一人ひとりの人格や個性を尊重し、尊厳や自尊心を傷つけることのないよう、言動や対応に十分留意しています。また、個人情報や守秘義務についても周知徹底しています。居室への入室、排泄支援を行う際にはプライバシーや羞恥心に配慮して対応しています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご家族様などの希望が優先しがちになる事もありますが、ご本人の自己決定には自立支援も含めご家族様には変わってお話をさせて頂く事もあり、入居者様が何を希望されているのかを気づくことが大切かと考えています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その時の状況や様子を観ながら、その人が望むことへの支援と一人ひとりに合ったペースを大切にしながら過ごして頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみには常に気を配っており、ご自身でおしゃれを出来ない方には職員がお店に出向きその方を思いながら服装を選ばせて頂く事もあります。また季節に応じた服装にして、汚れた時は着替えて頂き清潔にも気をつけております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在4名の入居者様が職員と共に包丁を使い調理し、みそ汁の味見等を行なっています。食事作りに関わらない男性入居者様も下膳などを快く行なって頂き、食事作りから片付けまで助け合いで行ない、関りをもって頂いております。	メニューは利用者の要望も取り入れながら職員が考え、食材などを購入しています。現在は4名の方が職員とともに包丁を使って調理や下ごしらえ、味見など、様々なかたちで調理に携わっていただくようにしています。食事作りに携わらない方は、下膳などをを手伝っていただき、残存能力の維持につなげています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全量召し上がっていただく様に声掛けを多くしながらも無理強いせず見守るようにしておりますが、偏りのないように栄養士や看護師の助言も頂きメニューの工夫もしております。またBMIの低いご利用者様には少し多めの配膳にして、体重の増加にも努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科のドクターや歯科衛生士からの助言を頂き、口腔内の衛生、ケアに努めております。歯ブラシや義歯ブラシは訪問歯科で用意、管理して頂いております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来る限りリハパンやおむつを使用しない自然体で過ごせるように排泄リズム表を確認しながら、トイレにお誘いして自立排泄を促しております。また、パット使用者であってもその人の排泄リズム表を見ながら誘導、排泄を促しております。	排泄チェック表を用いて、一人ひとりの排泄状況の把握し、時間やタイミングを見計らった声かけによるトイレ誘導で、排泄の自立に向けた支援を心がけています。失敗を減らせるよう、カンファレンスやモニタリングで支援方法を検討しながら支援を行っています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘に関しては常日頃より職員の申し送りで行われていますが、薬品のみならず、オリゴ糖やヨーグルト、牛乳などでも排便を促しております。最終的には坐薬の使用もありますが、便困による合併症の予防も考慮しています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴に関しては入浴日等管理をさせて頂いていますが、入浴前には必ず声を掛けさせて頂きご本人に承諾して頂いてから入浴をしています。ご利用者によってリフトやシャワーチェアの利用で安全でご希望に添った入浴が出来ております。	入浴日などは決めています。入浴前に必ず声かけし、本人の意向を確認し、了承を得てから入浴支援を行っています。また、その際にバイタルチェックも行い、安全・安心して入浴していただけるようにしています。利用者によっては、リフト浴やシャワーチェアを使用した入浴も行っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	皆様の生活ペースを尊重しつつ生活が送れるように支援をさせていただいています。夜間は睡眠導入剤の使用をすることもなく安眠できるように個々の安眠環境に考慮し支援をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬も含め、服薬介助は法人を上げて注意しています。特に新たに処方された薬などは、連絡ノートやファイル等情報の共有漏れがないよう注意していると同時に2名の薬担当者が役割を持ってもらい、主治医、支持、連携で正確に答えられるようにしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	四季を感じて頂き、時には非日常的なイベントも考えておりますが、ご利用者様に役割を持つてもらう事は大変難しくなっております。気分転換においては外部からの提案も頂き、ウッドデッキを活用して温泉での足湯を楽しんだり、女性にはネイルやフェスバックも好評となっております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出においてはご家族のご協力でお出かけが出来ますが、それ以外のご利用者様には玄関前やウッドデッキを活用して外気浴や季節を感じて頂いておりますが、全体的には人で不足もありなかなか満足する行く支援は出来ていない様に思います。	日常的な外出支援は家族の協力も得ながら出かけている方もいますが、それ以外の方についてはテラスに出て外気浴や事業所周辺の散歩にお連れしています。毎年、花見やクリスマスイルミネーションなどの季節の外出行事も計画して季節感を感じていただけるよう心がけていますが、人員的な問題やコロナ禍の影響もあり、現状は満足していただけるような外出支援は行えていません。しかしながら、事業所の周辺は多くの山々に囲まれており、テラスや玄関先でも四季折々の自然を楽しむことができる環境下にあるため、気分転換を兼ねて玄関先で昼食をとることもあります。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在お金に関しては、施設内では持つことは極力遠慮して頂いております。ほしいものがある時は預り金よりお金を用意して、職員と一緒に買いものに出かけることはあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやり取りは難しくなっていますが、届いた手紙は、その方に読んで差し上げています。電話でのやり取りには支援をさせていただいています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースは常に掃除や消毒を行い、清潔感を感じて頂けるような空間を目指し、掲示物で四季を感じて頂けるように季節に合わせたものに交換しております。またウッドデッキでは気軽に外気浴もでき、家庭菜園も楽しまれておりますが、課題は安全の為に整理整頓が維持出来るようにしなければいけない事だと思っております。	共用空間は皆が集まって過ごす場所であり、整理整頓・臭気・室温・湿度に留意し、壁には季節感を感じられる装飾品やレクで作成した作品を飾るなどして、快適な空間になるように心がけています。また、窓やウッドデッキから見渡すことのできる山々は壮大で、四季の移り変わりを感じることができます。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様には思い思いの場所で過して頂いています。中には10年以上定位置以外拒否をする方もおりますが、声かけをさせて頂き、外を眺め季節を感じて頂く様に工夫をしております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的にはすべての物を自宅から持参して頂き、その方の落ち着く生活空間を目指しています。以前はリビングで皆様と日中過ごすことが多くありましたが、現在では入居者様の居室で自分時間を思い思いに過ごされることも多くなりました。	居室には介護用ベット、クローゼット、エアコンが完備されており、それ以外の家具や寝具などは、自宅で使用していた物を持ち込んでいただくように伝えていきます。その方にとって馴染みの物や思い出の品を極力持ち込んでいただくことで、落ち着いて過ごせる居室作りができるよう支援しています。認知機能の低下により危険が伴う場合や、居室で過ごすことが多くなった方については家族と相談して家具等の撤去やレイアウトを変更しています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者皆様それぞれの出来る事の発見を共有しています。自立支援とは研修でも行ないましたが、一つ間違えると虐待にもあたるため、勘違いしないよう職員には伝えてあります。入居者様が今今の支援が必要か見極める力も必要と考えます。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム 泉の郷 仙石原

作成日

令和3年12月6日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	令和2年3月に親ユニット（ひめしゃら）が開所となり、急激な職員の増加と派遣職員の増加も合わせ職員間のコミュニケーション及び考えの不一致が現れている。	職員のコミュニケーションがうまく取れなければよいサービスは無理と考え、事業所として同じ目標を立て良いサービスに繋げる。	令和2年より法人理念も「ひたむきに幸せの和をひおげ、だれもが笑顔で暮らせる社会をつくる」にかわり、今一度ひも解いて志を整える。	4か月
	全般	コロナウィルス感染予防にて様々な制約が出来てしまっている。	制約回避の代替案を積極的に取り入れる。	様々な事業所と情報交換を行い、代替案を提案していく。	4か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	グループホーム泉の郷仙石原
ユニット名	ひめしやら

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ひたむきに「しあわせ」の「和」をひろげ、誰もが笑顔で暮らせる社会をつくる。また6つの規範を守ることにより基本理念を尊重し、茶会貢献に努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の世帯の減少も続く中に、コロナウイルスによる自粛もあり、自治会の総会等の集まりは控えておりますが、地域の定期清掃には参加させていただいております。また、日常の挨拶は欠かさない様に心がけております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	箱根町の高齢化が進む中、土地柄のせいはまだ認知症という病気をご家族は理解出来ず、隠す傾向が見られるように思われます。もう少しご家族様に認知症という病気を理解していただける様に柔軟に説明、アピールして地域への支援に努めていければと考えております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルスも少し落ち着いてきているものの、まだまだ感染予防もあり、外部との交流も裂けておりますが、電話等での報告や意見等お伺いして、今後のサービスの向上に努めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	まだコロナウイルスの自粛もあり、なかなか会議や情報交換の場には出席は出来ておりませんが、市町村関係者や協力関係者とは電話等で連絡を密に取り意見交換をさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関や出入り口の施錠はしておらず、身体拘束はありませんが、知らず知らず言葉による声掛け等に身体拘束に当たるような言葉になっていることもあり、研修等に取り入れ、職員同士声を掛け合い、身体拘束にならないようなケアに取り組んでおります。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については繰り返し研修を行なっています。内容的には職員のストレスからくるものや心理的な虐待が主になっておりますが、言葉かけには充分注意をしなければいけないと思っておりますとともにその場で注意をし、今後も予防に努めて参りたいと思います。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	当施設では3分の1の入居者様が成年後見人制度を利用させて頂いており、成年後見人様との話し合いや相談等でいろいろ学ぶ機会もありました。今後もっと成年後見人制度の利用も増えると予測されますので、今後実践で制度の理解や活用が出来るのではないかと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては先を見越した説明も交えて理解、納得させて頂いておりますとともに利用者様の不安も引き出せるように努力しております。また、今後契約書や重要事項説明書の改訂に伴い、自分自身書面の説明がしっかりとできるように理解を深めるよう努力しております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様や利用者様には日ごろから意見や不満等を引き出さなければ、いずれ大きな苦情となると考えています。意見要望等は面会時の記録として残し、管理者等に伝わるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	最近は特に職員の声が入層部まで届くようになり変化が見られるようになってきております。これは入居者様同様、職員を大事にする良い傾向だと思います。今年度も昨年同様運営を4つのテーマに分け課題の抽出や改善に取り組んでいます。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給料水準では新たな加算もあり見直しを今年度も続けて行っています。今年度も人員不足が続き、職場の環境や整備にも力を入れております。現在さまざまなAI利用の検討も引き続き行なっています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本部内部研修・外部研修・自事業所内部研修と研修の場は多く提供していましたが、今現在はコロナウイルス感染防止の為、外部研修は自粛しておりますが、自事業研修だけはテーマに添って行っており、スキルアップにも繋げております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年4回の箱根町主催介護保険連絡会には必ず参加をさせていただいておりましたが、コロナウイルス感染予防で自粛となりました。それでも電話等で連絡を取り合い、各事業者からの新たな連絡事項なども多く含まれており、各事業所の連携が深まってもおります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	傾聴に重点を置き、それをケアプランに反映させることができるように、まずは不安要素を払拭することに努めています。その上に要望等も加え、その方に適した支援を行うことを心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今までのご本人の生活歴を把握したうえで関わる時間を多く持ながら、傾聴することにも重点を置き、一人ひとりにあった声掛け、対応に努めております。また家族様との関係も、良い話だけでは信頼関係を築けるものでもないので、現実や先の話も織り込んで親身な対応に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族やご本人、ケアマネージャーも含め何を必要としているかを見極める事が大事かと思いますが、まずはご本人を知る事を心掛けて対応にあたりたいと思います。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「介護する者」「介護される者」と区別するのではなく今ここでともに暮らす事で新たな生活づくりのお手伝いをさせて頂き、ごまかしのない話の中でお互いの信頼関係を築く様に心がけております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナウイルス感染防止の為、ご家族様と入居者様のご面会も制約される中ですが、ご家族様からの新たな情報を得ることができるようせっかくの時間を大事にして話し合えるように努め、より深い関係ができるように心がけております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出や通院は出来る限り、ご家族にお願いして、外出時はご自宅に寄り、様子を見て安心して頂く様をお願いしておりますが、現実的にはなかなか難しいところもあり、コロナウイルス感染防止の自粛も解除されたらホームの行事にも参加して頂き、みんなで新たにより良い関係を築ければと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が仲裁しなくても入居者様同士がコミュニケーションを取ることが多く見られるようになりました。当然コミュニケーションの難しい方には職員が橋渡しをし、独りではない生活を送れるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	グループホームを何らかの事情で退居されても、当施設に住所を置かれている方もいらっしゃいます。その後のフォローが後々私どもに帰ってくることも多々あり、今後も相談や支援に努めてまいります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	画一的なケアではなく、ご利用者様一人ひとりの生活歴を踏まえ、その方に合わせた個別的ケアが出来るように努めております。その際は当然ご本人やご家族様より情報も頂いております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の生活歴は重要なことなので、ケアマネジャーやご家族も含め把握に努めています。居室については入居者様の落ち着ける環境を整え、心地よい環境作りに気を付けております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活がその人にとって充実し、満足のできる一日になる様にやりたい事や出来ることへの拡大を図りながら、ともに楽しむ生活づくりができるようにケアプランにも繁栄しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランのチェック表やケアカンファレンス等で状況の変化に応じた個別性に配慮した目標提示がされているか話し合いをしながら再確認をしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	常に気づきの報告書をあげ、それに基づきケアカンファレンスしながら状況の変化に対応、見直しをしているとともにケアプランチェック表でも介護計画の見直しに役立てております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	大きな状況の変化や問題が生じた時は、会議を開催して家族の意向や状況等を話し合い、常に個別性に配慮できるように細やかに取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源では有償に限らず、小さな資源でも組み合わせることにより大きな資源になるかと考えています。あらゆる資源を見つけ出し、豊かな生活作りが出来るように支援しております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との信頼関係は出来ており、いろいろ相談に応じて頂いております。また訪問歯科や訪問ナース、訪問診療等もよく相談に乗って頂き、それを記録にも残しております。ご本人やご家族様の希望にも最大限に応えられるようにもしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員の情報と訪問看護師の情報を記録に残し、すべての職員が適切な受診や看護を受けられるように努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関とは営業も兼ね関係づくりに努めています。医療連携室等との情報交換も常日頃より心掛け、入退院時もスムーズに行えるよう努めています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	当施設では看取りを行っていないため、入居前からご本人やご家族様には重度化や終末期に関しては、十分な説明を行っています。また入居者様の望む事を適切に家族等にも伝えられるよう日頃から努力をしています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急手当や初期対応に関して法人内でも研修に盛り込んでおります。主治医からのご利用者様それぞれあり得る急変や注意も頂いたり、今年度より一部ですが訪問診療も出来るようになり、緊急時の対応もいっそうスムーズになり、実践力にも繋がっているのではないかと思います。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策では消防署の指導もあり、外への避難ではなくテラスへの避難を推奨されています。年2回の防災訓練でも毎回さまざまな想定をこなすよう工夫しております。またご利用者様の薬は10日間程余裕を持たせ、食糧の備蓄もしております。箱根町災害緊急避難場所にも指定されております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	長年一緒に生活を共にすると、知らず知らずに不適切な声かけも聴かれ、反省することもあります。しかし人格の尊重などは常に心得え対応する努力をしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご家族様などの希望が優先しがちになる事がありますが、ご本人の自己決定には自立支援も含めご家族様には変わってお話しをさせて頂く事もあり、入居者様が何を希望されているのかを気づくことが大切かと考えています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その時の状況や様子を観ながら、その人が望むことへの支援と一人ひとりに合ったペースを大切にしながら過ごして頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみには常に気を配っており、ご自身でおしゃれを出来ない方には職員がお店に出向きその方を思いながら服装を選ばせて頂く事もあります。また季節に応じた服装にして、汚れた時は着替えて頂き清潔にも気をつけております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事作りから片付けまで助け合いで行ない、関りをもって頂いております。	現在4名の入居者様が職員と共に包丁を使い調理し、みそ汁の味見等を行なっています。食事作りに関わらない男性入居者様も下膳などを快く行なって頂き、食事作りから片付けまで助け合いで行ない、関りをもって頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全量召し上がっていただく様に声掛けを多くしながらも無理強いわず見守るようにしておりますが、偏りのないように栄養士や看護師の助言も頂きメニューの工夫もしております。またBMIの低いご利用者様には少し多めの配膳にして、体重の増加にも努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科のドクターや歯科衛生士からの助言を頂き、口腔内の衛生、ケアに努めております。歯ブラシや義歯ブラシは訪問歯科で用意、管理して頂いております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来る限りリハパンやおむつを使用しない自然体で過ごせるように排泄リズム表を確認しながら、トイレにお誘いして自立排泄を促しております。また、パット使用者であってもその人の排泄リズム表を見ながら誘導、排泄を促しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘に関しては常日頃より職員の申し送りで行われていますが、薬品のみならず、オリゴ糖やヨーグルト、牛乳などでも排便を促しております。最終的には坐薬の使用もありますが、便困による合併症の予防も考慮しています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴に関しては入浴日等管理をさせて頂いておりますが、入浴前には必ず声を掛けさせて頂きご本人に承諾して頂いてから入浴をしています。ご利用者によってリフトやシャワーチェアの利用で安全にご希望に添った入浴が出来ております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	皆様の生活ペースを尊重しつつ生活が送れるように支援をさせていただいています。夜間は睡眠導入剤の使用をすることもなく安眠できるように個々の安眠環境に考慮し支援をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬も含め、服薬介助は法人を上げて注意しています。特に新たに処方された薬などは、連絡ノートやファイル等情報の共有漏れがないよう注意をしているとともに2名の薬担当者が役割を持ってもらい、主治医、支持、連携で正確に答えられるようにしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	四季を感じて頂き、時には非日常的なイベントも考えておりますが、ご利用者様に役割を持つてもらう事は大変難しくなっております。気分転換においては外部からの提案も頂き、ウッドデッキを活用して温泉での足湯を楽しんだり、女性にはネイルやフェスバックも好評となっております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出においてはご家族のご協力で出かけることが出来ておりますが、それ以外のご利用者様には玄関前やウッドデッキを活用して外気浴や季節を感じて頂いておりますが、全体的には人で不足もありなかなか満足の行く支援は出来ていない様に思います。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在お金に関しては、施設内では持つことは極力遠慮して頂いております。ほしいものがある時は預り金よりお金を用意して、職員と一緒に買いものに出かけることはあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやり取りは難しくなっていますが、届いた手紙は、その方に読んで差し上げています。電話でのやり取りには支援をさせていただいています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースは常に掃除や消毒を行い、清潔感を感じて頂けるような空間を目指し、掲示物で四季を感じて頂けるように季節に合わせたものに交換しております。またウッドデッキでは気軽に外気浴もでき、家庭菜園も楽しまれておりますが、課題は安全の為に整理整頓が維持出来るようにしなければいけない事だと思っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様には思い思いの場所で過して頂いています。中には10年以上定位置以外拒否をする方もおりますが、声かけをさせて頂き、外を眺め季節を感じて頂く様に工夫をしております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的にはすべての物を自宅から持参して頂き、その方の落ち着く生活空間を目指しています。以前はリビングで皆様と日中過ごすことが多くありましたが、現在では入居者様の居室で自分時間を思い思いに過ごされることも多くなりました。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者皆様それぞれの出来る事の発見を共有しています。自立支援とは研修でも行ないましたが、一つ間違えると虐待にもあたるため、勘違いしないよう職員には伝えてあります。入居者様が今何の支援が必要か見極める力も必要と考えます。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム 泉の郷 仙石原

作成日

令和3年12月6日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	令和2年3月に親ユニット（ひめしゃら）が開所となり、急激な職員の増加と派遣職員の増加も合わせ職員間のコミュニケーション及び考えの不一致が現れている。	職員のコミュニケーションがうまく取れなければよいサービスは無理と考え、事業所として同じ目標を立て良いサービスに繋げる。	令和2年より法人理念も「ひたむきに幸せの和をひおげ、だれもが笑顔で暮らせる社会をつくる」にかわり、今一度ひも解いて志を整える。	4か月
	全般	コロナウイルス感染予防にて様々な制約が出来てしまっている。	制約回避の代替案を積極的に取り入れる。	様々な事業所と情報交換を行い、代替案を提案していく。	4か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。